

☆分子量を自在に制御し、狙った機能を設計する。

50年にわたり携わってきた講師が、重合の基礎から高分子構造制御・機能材料設計への展開まで体系的に解説する

ラジカル重合の基礎とリビング重合・材料設計への応用

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2512112>

◆日 時：2025年12月04日（木） 12:30～16:30

◆会 場：WEBセミナー（オンライン開催）

◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2名で49,500円（税込）

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：SPM研究所 代表 工学博士 田中 均 氏

【講座の趣旨】

ラジカル重合はビニルポリマーの80%以上を製造する重要な反応である。

特に近年、基礎データおよび基本概念の見直しが進むとともに、従来は困難であった分子量の制御がリビング重合で可能となった。

本セミナーでは、ラジカル重合の研究、技術指導を50年余り行ってきた講師が、基礎から最新の情報、技術手法について解説する。

はじめて学ぶ方から、実際に課題に直面している技術者・研究者までを対象に、ラジカル重合及びリビング重合の基礎から課題、応用までを具体的にわかりやすく紹介する。

【プログラム】

1. 重合の基礎

- 1-1 基本用語
- 1-2 重合の分類
- 1-3 素反応
- 1-4 重合速度と分子量の解析
- 1-5 重合操作法

2. 単独重合

- 2-1 重合に適するモノマーの特徴
- 2-2 開始剤の種類と選び方
- 2-3 成長反応。反成長反応
- 2-4 停止反応。停止機構の変革
- 2-5 連鎖移動反応。機能化連鎖移動
- 2-6 禁止反応。酸素とキノン

3. 共重合

- 3-1 共重合の種類と特徴
- 3-2 重合の解析。反応性比とQ-e値
- 3-3 モノマーの構造と反応性

4. リビングラジカル重合

- 4-1 これまでの分子量制御法
- 4-2 分類と特徴
- 4-3 リビングラジカル重合の原理
- 4-4 リビング重合の具体例と課題
- 4-5 リビング重合の新展開

『ラジカル重合【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-mail	
①			
②			

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、（土日祝日を除く）8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録（無料） ☐ Eメール ☐ 郵送 ※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。